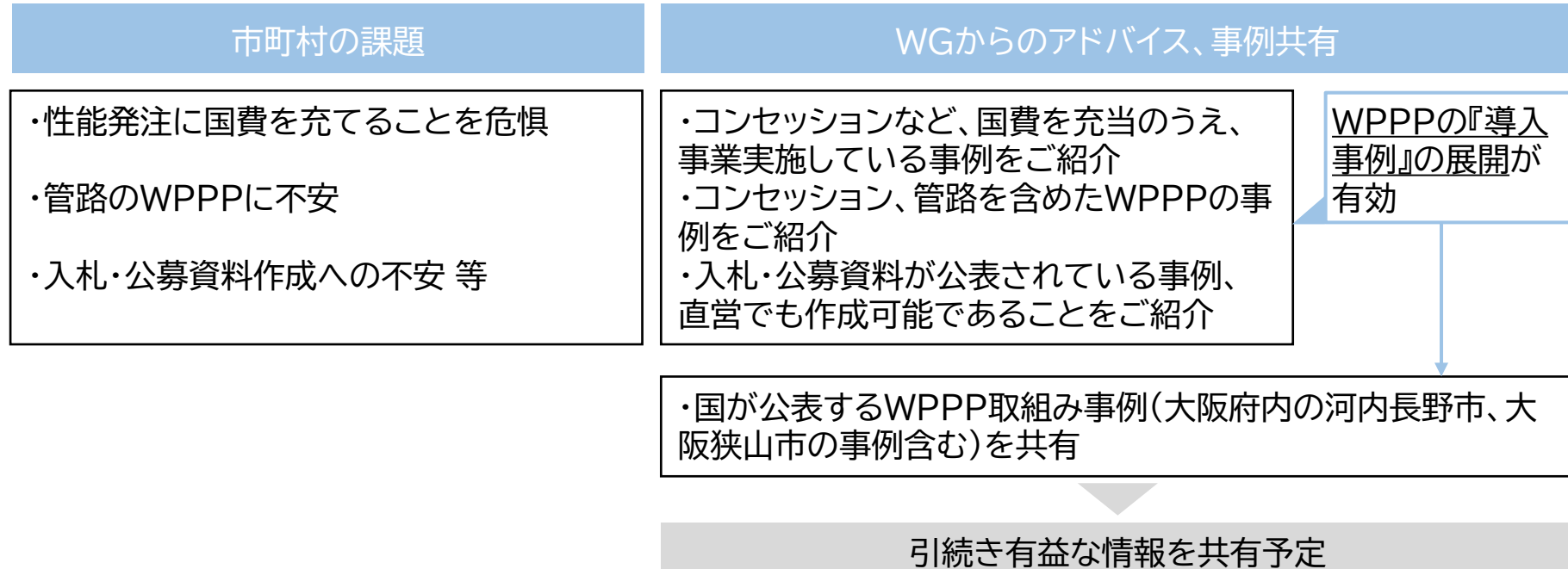


下水道ビジョンの主な取組成果（ビジョン①）

◆ 官民連携

- 中長期的な目標(到達点)
老朽化による維持管理コスト増加を抑制するため、改築に合わせて民間活用を拡大し効率的に事業を実施
- 短期的な目標
ウォーターPPPや民間活用事例等の共有を行い、府市及び府内市町村のウォーターPPPを推進
- 主な取組内容と成果
ウォーターPPPに関する情報収集を実施
⇒大阪府、大阪市のウォーターPPP導入に向けた検討状況を双方で情報共有
⇒府内市町村のウォーターPPP導入に向けた検討状況をヒアリングし、必要に応じてアドバイスを実施
⇒WPPPの取組み事例を共有



下水道ビジョンの主な取組成果（ビジョン①）

◆ 府内市町村下水道事業の持続性確保

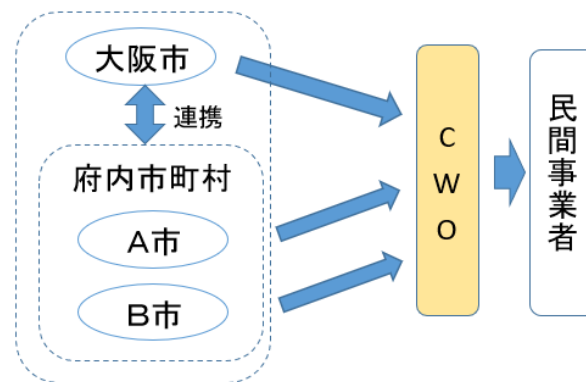
- 中長期的な目標(到達点)
府内市町村の状況に応じた持続性確保、広域化・共同化計画の推進(継続的な取組)
- 短期的な目標
府内市町村の抱える課題を解決するための有効な取組メニューの展開
- 主な取組内容と成果
 - ⇒府市で連携し府内市町村対象に個別ヒアリングの実施(令和4年度～)
 - ⇒広域化共同化ブロック合同会議において府内市町村に先進事例等の共有(令和4年度～年2回開催)
 - ⇒万博デザインマンホール蓋の共同調達の実施(令和5年度)
(豊中市、池田市、茨木市、能勢町、熊取町の5市町で活用)



万博デザインマンホール蓋



ブロック合同会議の状況



共同調達のスキーム

大阪市の包括受託者（CWO）
が一括して調達発注することにより、
スケールメリットによるコスト削減と
事務の効率化を実現

下水道ビジョンの主な取組成果（ビジョン①）

◆ スtockマネジメント

○ 中長期的な目標(到達点)

府並びに市のネットワークを活用した再構築手法の確立

○ 短期的な目標

・Stockマネジメント手法に基づく計画的改築、施設の再構築

○ 主な取組内容と成果

⇒令和4年度：設備機器のStockマネジメントに関する課題(健全度評価等)の情報共有

⇒令和5年度：大阪市東部地区地域の府市ネットワークを活用した処理場再構築方法の検討

⇒令和6年度～：上記検討の継続、大阪市東部地区の処理場再構築に係るポンプ場も含めたネットワークの検討



	単位	大阪市			大阪府	
		中浜 下水処理場	今福 下水処理場	放出 下水処理場	川俣水みらい センター	鴻池水みらい センター
敷地面積	m ²	88,404	51,631	59,391	91,300	117,800
現有施設能力	m ³ /日	188,000	241,000	149,000	380,000	331,000
実績処理水量 (R4年度)	m ³ /日	164,000	151,000	79,000	279,000	225,000

下水道ビジョンの主な取組成果（ビジョン①）

◆ 技術力向上

○ 中長期的な目標(到達点)

これまで培ってきた技術・ノウハウを次世代に着実に継承する。

○ 短期的な目標

府内下水道職員の技術力の持続的な向上のための取組み実施。

○ 主な取組内容と成果

・下水道河川工学研修を府内市町村全体を対象として実施(令和4年度～)

R7年度:参加者は79名。うち府内市町村(大阪府・大阪市除く)から13市町村、37名が参加

自治体講師として、大阪府および堺市が参加

先人の経験を直接聞く場として先輩の体験談を実施(11月)

最新の水処理技術の現場視察、下水道事業の課題解決にむけたディスカッションを実施(12月)

・府内市町村下水道職員向けの講習会を開催(見学含む)(令和4年度～)

【下水道技術講習会】82名(R6.12.26) 【見学】今池水みらいセンター ICT体験研修 12名(R6.9.11~12)

⇒研修内容の充実や職員の資質向上を図っていく。

【新たな試み】先輩の体験談、現場見学等を実施



下水道河川工学研修 (R7.9.26~12.22)

グループ
ディスカッション



ICTに関する体験研修



ICT施工体験

マシンガイダンスシステム

下水道ビジョンの主な取組成果（ビジョン①）

◆ 下水道PR

- 中長期的な目標(到達点)
府内市町村連携した下水道広報活動の推進(継続した取組み)
- 短期的な目標
府内市町村連携した下水道広報の取組体制の構築と共同した広報活動の実施
- 主な取組内容と成果
 - ⇒大阪下水広報ぷらっとホーム推進チームを構築
(大阪府、大阪市に加え、先進的な下水道PRの取組を実施している府内10市が参画)
 - ⇒府内市町村の情報発信の場として「ぷらっとホームHP」を開設
 - ⇒SNSなどを活用した情報発信
(これまで、延べ194回の投稿(令和8年3月末時点))
 - ⇒府内市町村連携した下水道PRイベント「大阪マンホール EXPO」の開催
(来場者数 令和5年度 597名、令和6年度 880名、令和7年度 3,200名)

大阪マンホールEXPO～親子で楽しむ下水道～の開催



【イベント概要】
開催日：2025年10月25日(土)・26日(日)
会場：イオンモール堺北花田
ターゲット：下水道に無関心層
来場者数：約3,200名(前年比260%UP)
内容：仮パンチ作成/実験コーナー/記念撮影など
運営：府職員+21市町

案内チラシ→

遊びとマスコット

センターコート

ノースコート

学びと展示

大阪マンホールEXPO2025
親子で楽しむ下水道～

Instagramのフォロワーもイベント後には 417人 → 708人に爆増

#大阪映えマンホール(R5.3.17～)

下水道マンホール越しの映え写真
(きれい、おもしろい)を撮影しSNSに投稿。



高師浜駅
「南海電気鉄道高師浜線」



東大阪市本庄西一丁目
「大阪モノレール橋脚」



大阪市中央区本町橋付近
「光るマンホール」



堺市大仙公園
「ハリウム型気球」

下水道ビジョンの主な取組成果（ビジョン②）

◆ 地震対策

○ 中長期的な目標(到達点)

災害発生時でも下水道機能を維持するため、府市で連携可能な取組を具体化し進める。

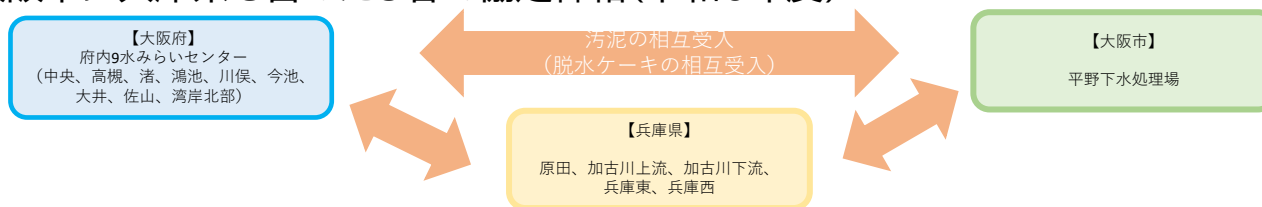
○ 短期的な目標

災害時の処理機能維持のため、災害時の汚泥運搬処理のバックアップ体制構築を府内市町村にも拡大する。

○ 主な取組内容と成果

⇒大阪府と大阪府で「緊急時における下水道の共同処理に関する協定」を締結(令和3年度)

⇒大阪府、大阪府に兵庫県も含めた3者で協定締結(令和6年度)



災害時(被災時)における下水汚泥の処理(受入れ)のイメージ

(成果の活用事例)

大阪市の炭化炉の事故による運転停止に伴い、本協定に基づき、大阪府の処理場に汚泥を運搬、処理

(経過) 令和4年12月3日:大阪市の平野下水処理場

汚泥固形燃料化施設内で爆発事故発生

令和5年1月18日～3月13日:大阪府の北部

水みらいセンター内大阪南下水汚泥広域処理場

(忠岡町)で受入れ開始

大阪南下水汚泥広域処理場 焼却炉

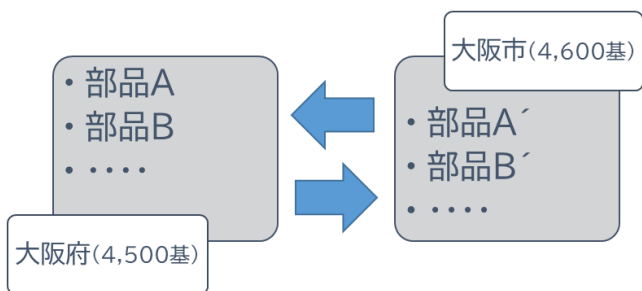


汚泥の搬出、搬入状況

下水道ビジョンの主な取組成果（ビジョン②）

◆ 保有設備部品等の共有化

- 中長期的な目標(到達点)
 - ・府市町村間で保有設備部品を共有化
 - ・保有部品のデータベース化を行い、継続的な更新を図る府内市町村の状況に応じた持続性確保
- 短期的な目標
 - ・府市町村間での「緊急時の保有部品の相互利用に関する覚書」の締結及び府市町村ごとの部品リストの作成
- 主な取組内容と成果
 - ⇒大阪府と大阪府で「緊急時の保有部品の相互利用に関する覚書」を締結(令和4年度)
 - ⇒下水処理場を有する堺市/岸和田市/豊中市/池田市/吹田市/守口市/河内長野市/能勢町の8者を加え、合計10者で締結(令和5年度)
 - ※主な保有部品
ディーゼル機関部品、監視制御設備部品、電動機(小型)、水中ポンプ(小型)、仮設発電機



府市における部品共有のイメージ



ディーゼル機関部品
(ピストン及びピストンリング)



監視制御設備部品
(伝送モジュール)

下水道ビジョンの主な取組成果（ビジョン③）

◆ 技術開発・国際貢献

○ 中長期的な目標(到達点)

- ・【技術開発】産学官連携による共同研究の実施
- ・【国際貢献】本邦優位性技術の現地導入

○ 短期的な目標

- ・【技術開発】新技術に関する各種情報の相互共有
- ・【国際貢献】本邦技術の理解促進に資するための現地人材の育成

○ 主な取組内容と成果

- ⇒新技術の開発や導入に関する国内情報について、府内市町村を含め共有(令和4年度～)
 - ・流域下水道新技術検討会（R7年:7月9日:企業4社、13自治体約50名の参加）
 - ・下水道技術研究会（R7年:9月1日:研修者11名、9自治体68名の参加）
- ⇒企業・大学等の研究者による技術開発の促進をめざし、大学等の革新的な技術シーズの発信
 - ・R7年事例:7月30日:下水道におけるカーボンニュートラルに資する技術シーズ発表会(発表6者)
- ⇒大阪市建設局とベトナム・フエ市建設局との間で新たに技術支援を開始。
- ⇒大阪・関西万博や下水道展にて「未来の下水道」を国内外に発信(大阪ウィーク:7月24・25日、下水道展:7月29日～8月1日)
- ⇒海外からの視察者やJICA研修員に対し官民連携にて本邦技術を発信。
 - ・R7年事例:8か国から249名の視察者を受け入れ、JICA研修員16名に対し講義を実施



シーズ発表会 (R7.7.30)



ベトナムフエ市と議事録を交換



「未来の下水道」を国内外に発信

下水道ビジョンの主な取組成果（ビジョン③）

◆ 処理場空間の多様な活用

○ 中長期的な目標(到達点)

再構築時に活用できる、処理場の空間の活用やまちづくりへの活用などのノウハウを共有

○ 短期的な目標

府および市が実施している取組事例や検討状況についての情報を共有、展開

○ 主な取組内容と成果

⇒府市が実施している取組事例や検討状況について共有(令和4年度～)

・竜華水みらいセンターの上部利用施設の事例について勉強会を実施

・中浜東下水処理場の再構築事例について現場見学会を実施

・府が実施している処理場用地の貸し付け事例について情報共有

⇒府内の処理場空間等の活用事例を収集し、一般開放に関する情報をホームページに掲載(令和5年度)

⇒府内の処理場空間で一般開放している施設の利用状況や他事業の空間活用事例等について調査(令和6年度～)



中浜東下水処理場の再構築事例



竜華水みらいセンターの上部利用事例